

[089_03] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/6757900>

出版情報：法政研究. 89 (3), 2022-12-21. Hosei Gakkai (Institute for Law and Politics) Kyushu University
バージョン：
権利関係：



九州大学教授 チャスラヴ・ペイヨヴィッチ (Časlav Pejović) 先生

チャスラヴ・ペイヨヴィッチ先生は、1957年にモンテネグロ（旧ユーゴスラビア）ポドゴリツァ市にお生まれになった。1979年にモンテネグロ大学法学部を卒業され、卒業後は、同大学において、助手、講師、助教授として1997年まで勤務された。その間、1983年にベオグラード大学から法学修士の学位を取得され、1990年にザグレブ大学から法学博士の学位を取得されている。

また、1986年には、文部省の奨学金を得て来日され、大阪外国語大学において日本語を学ばれた。そして、1987年4月より一年間は、京都大学法学部研究生として研究された。翌年の4月からは、京都大学大学院法学研究科修士課程に進学され、川又良也先生の下で研究され、1990年3月に同大学より法学修士の学位を取得された。

その後、1994年からの一年間、ペイヨヴィッチ先生は九州大学法学部において訪問研究員として研究を進められた。本学での訪問研究員としての経験が契機となり、1997年10月、国際コース（LL.M.プログラム）が1994年から設けられていた九州大学大学院法学研究院において、助教授として就任された。2002年4月には教授に昇進され、現在に至っている。

ペイヨヴィッチ先生の御研究については、海上運送、特に船荷証券や運送人をめぐる問題に関する論文を多数執筆されている。ペイヨヴィッチ先生は、比較法的側面や歴史的側面からの分析を特に重視され、船荷証券の性質や運送人の責任について考察を深めてこられた。こうした御研究の成果は教育にも還元されている。九州大学大学院法学府国際コースにおいては国際商法・海商法・比較法・外国投資法の授業を御担当され、いずれも人気を博した。また、特に2004年から2019年にかけては、チュラロンコン大学、デューク大学ロースクール、筑波大学、タイ司法省、ティルブルフ大学、上海財経大学、メーファールアン大学等における集中講義においても御活躍された。ペイヨヴィッチ先生の温厚な御人柄やユーモア、厳しくも的確な御指導のため、学生からの信頼が厚く、大学院において先生からの論文指導を希望する学生が多かった。

この度、ペイヨヴィッチ先生が御退職を迎えられるにあたり、心からの感謝を申し上げますとともに、一層の御健勝と御活躍を祈念して、本号を献じる次第である。